

エネルギー省、クリーンで高性能のバイオマス燃料を利用した調理用ストーブの研究に 250 万ドルを助成 (4 月 13 日)

エネルギー省 (Department of Energy) は 4 月 13 日、発展途上国向けの炭素排出量の少ないバイオマス調理用ストーブ (clean biomass cookstove) の応用研究に対し、最大 250 万ドルを拠出することを発表した。

世界保健機関 (World Health Organization : WHO) によると、調理や加熱の際に排出される有害な煙の吸引によって毎年 200 万近くの人々が命を落としており、煤煙被害を発展途上国における公衆衛生上の 10 大脅威の一つに指定している。

そのため、燃焼効率がよく煤煙の発生が少ない高性能調理用ストーブの開発は、①有害な煙の吸引に起因する死亡数の削減、②使用燃料量の削減、③森林破壊の進行速度の緩和、④燃料集めに費やされる時間の短縮による他の経済的活動の実施や学業に割く時間的余裕といった生活水準の向上などに寄与するものと期待されている。

エネルギー省は、調理用ストーブの技術開発と普及に取り組む官民パートナーシップ「クリーン調理ストーブ普及のための世界連盟 (Global Alliance for Clean Cookstoves : GACC)」の共同設立機関でもあり、本助成により、環境にやさしい調理器具技術の普及とグローバル市場構築の推進を目指している。

なお、エネルギー省のバイオマス調理用ストーブに関する報告書は  
<[http://www1.eere.energy.gov/biomass/pdfs/cookstove\\_meeting\\_summary.pdf](http://www1.eere.energy.gov/biomass/pdfs/cookstove_meeting_summary.pdf)>からダウンロード可能。

Department of Energy, Energy Department Announces \$2.5 Million to Advance Technologies for Clean-Burning, Efficient Biomass Cookstoves

<http://energy.gov/articles/energy-department-announces-25-million-advance-technologies-clean-burning-efficient-biomass>